

令和元年第11回教育委員会議事録

開催日時 令和元年11月27日(水)
午前9時30分～午前10時54分

場所 教育委員会会議室

出席者 教 育 長 石 黒 貢
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 中 川 まどか
委 員 高 橋 洋 一

事務局出席者 教育総務部長 荒 浪 淳
学校教育部長 井 上 正 人
教育総務部副部長兼社会教育課長
井 上 隆 雄
学校教育部副部長兼学務課長
田 口 周 一
教育総務課長 関 根 宏 夫
文化財保護課長 岸 本 光 子
指導課長兼小中一貫教育推進室長
五 味 理 絵 子
教育総務課庶務係主事 武 内 由 紀
教育総務課庶務係主事 高 橋 仁 志

○ 開会の言葉及びあいさつ 石黒教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和元年第10回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議題

議案第45号 [説明者 井上教育総務部副部長兼社会教育課長]

平成31年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳出補正予算を八潮市長に要求することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、議決を求める。

令和元年11月27日提出

八潮市教育委員会教育長 石黒 貢

提案理由 歳出予算の過不足を見込み、令和元年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質疑]

○石黒教育長

消費増税に伴い、学校給食費の取り扱いが変更されましたが、詳細を説明してください。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

学校給食の委託先である給食センターへ10月以降の消費税について確認し、食材料費は食材なので軽減税率8%が適用され、加工費は請負なので10%で

税務署に申告することとしておりました。このため、市としては、給食材料の委託料を食材として需用費の賄材料費の項目に組替え、給食加工に伴う業務委託は標準税率10%を適用し、9月議会の補正予算に上程し承認をいただいたところでございます。

その後、国税庁より加工費と食材費は食事の提供に伴い、食材を調達することから、役務提供を行う取引であり、全体として軽減税率の適用対象とはならないという指摘があったと川口税務署より給食センターへ改めて回答がありました。

これを受け、川口税務署に対し、取引の実態を詳細に説明し、当該契約を役務提供ではなく、飲食材料費の譲渡として契約した場合、軽減税率の対象となるのか確認いたしました。これは給食センターでは幼稚園給食ではお弁当を作り、これを飲食料品の譲渡として扱っておりこれは軽減税率が適用されておりましたので、学校給食においても同様の対応はできないのか確認したところ、国税庁が策定したQ&Aにおいて確認し、今回の件は軽減税率の対象となるとの回答がありました。さらに給食の業務の内容もこれまでと変わらずに実施できることが確認できたため、給食品の譲渡取引として契約をし、改めて学校給食の予算の組替えについて、12月議会に補正予算を上程いたします。

○加藤教育長職務代理者

給食の請負費が10%から8%へと変更され、今まで通りになったとのことですが、この2%の金額はどのくらいになりますか。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

給食費に係る全体の予算を約6億円計上しておりますので、この2%分として約1千200万円ほどとなります。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

[議案第46号については教育長が当事者となるため、教育長は退室する。]

議案第46号

[説明者 井上教育総務部副部長兼社会教育課長]

議会提出議案に係る意見聴取について

市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について、教育委員会の意見を求める。

令和元年11月27日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提案理由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、八潮市長から「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」に対する意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

な し

[教育長職務代理者が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。教育長が入室する。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和元年第4回八潮市議会定例会会期及び日程について

【資料説明】

12月2日から19日までの18日間で、12月10日が総括質疑、11日が総務文教常任委員会、16日・17日・18日が一般質問、19日に採決という予定となっております。

なお、一般質問につきましては、12月3日が通告日となっておりますので、後日、皆様に質問事項をお知らせいたします。

(2) 令和元年10月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

【資料説明】

市全体の「市民の声ボックス」の10月分の投書は26件、このうち教育委

員会への投書は3件でございました。

内容といたしましては、まず（5番）教育総務課宛に「八潮市内の中学校のトイレの洋式化を進めてほしい。各家庭、市内小学校が洋式になり、子ども達は洋式トイレが普通になっている。災害時に学校が避難所になるので、洋式になるのは、お年寄りなどに優しく、中学生でも足をケガした時や体調が思わしくない時など、洋式トイレの方が助かることもあると思う。」というものでした。

この投書に対しまして、「八潮市内の小中学校トイレの洋式化については、耐震・大規模改修工事に合わせてトイレの改修を行った学校は、洋式化率が50%を超えています。それ以外の学校については、一部のトイレしか洋式化されていないところ。ご指摘のとおり、子ども達は、洋式トイレが普通となっておりますことから、洋式化率を向上させてまいります。」と回答しました。

次に（13番）指導課宛に「潮止祭と大曾根っ子まつりが重なってしまったのは仕方がなかったと理解できるが、潮止中学校と小中一貫校ではないため大曾根小学校が犠牲になってしまったのでは、という気持ちになってしまう。事情があり、今年は同日になってしまった旨、まつりのお知らせの手紙に一言書いていただくことはできなかったのか。数年前、潮止中学校が出したサマースタールのボランティア募集の手紙の選択欄に大曾根小学校が入っていない事があった。小中一貫教育は効果も出ているとの事で良い取り組みだと思っているが、少数とはいえ、せつかくの良い取り組みに参加できず残念な思いをしている家庭がある事に、もう少し配慮してほしい。挨拶運動など、大原中学校の生徒だけではなく潮止中学校の生徒も来てもらう事は難しいのか。」というものでした。

この投書に対しまして、「八潮市の小中一貫教育は、小学校と中学校が離れた中で行われる施設分離型という方式をとっております。施設が離れていることから、様々な制限がある中で、各中学校ブロックの実情に応じた取組を展開しているところです。このように小中一貫教育は、中学校ブロックでの取組を基本としておりますが、この度の貴重なご意見を参考に、八潮市の小中一貫教育

がより良いものになっていくよう、中学校ブロックの枠組みにとらわれない柔軟な対応ができるように、校長会等に働きかけてまいります。」と回答いたしました。

最後に（16番）社会教育課宛に「リニューアル後の八潮図書館 web サイトについて、以前のほうが使いやすかった。UIに凝って結局使いにくくなった典型で、新刊も表紙画像が登録されているわけでもなく、結局使う予定のない機能を優先して全体の見づらさだけが強調されてしまっている。全体的な用語に違和感もあり、図書館を利用したことのない人が作ったような、欲しいところに欲しい情報のないとても残念なリニューアルだった。」というものでした。

この投書に対しまして、「現在の図書館のホームページは、10月8日から使用を開始しました。旧システムの会社が図書館への供給を終了したことに伴い、別会社のシステムに移行となりました。システム設計の違いによって、使い勝手や用語に違和感があると思われませんが、皆様のご意見を参考に、今後検討していきます。」と回答いたしました。

●井上学校教育部長

（1）八潮中ブロックの研究発表会について

先生方は、大変なご苦勞があったと思いますし、様々な考えがある教員を一つに束ねる校長先生においても大変なことだったと思います。

●井上教育総務部副部長兼社会教育課長

（1）令和元年度青少年の主張大会結果について

【資料説明】

11月9日（土）、令和元年度青少年の主張大会を開催しましたところ、資料のとおり成績となりましたので、ご報告いたします。

なお、この結果の順番は、点数順ではなく、それぞれの賞ごとに、発表の順番としています。当日は、367人の方にご来場いただき

ました。

教育委員の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様のご協力によりまして、大変有意義な主張大会となったものと考えております。

誠に、ありがとうございました。

(2) その他

八幡図書館、公民館につきまして、経年劣化が激しく、大規模改修を予定しているところでございますが、図書館部分の空調が現在故障しており、冷暖房が使えない状況です。

大規模改修において空調の入れ換えを予定しておりますことから、現在空調のみの入れ換えのために閉館することは難しいものと思われまますので、何とか修理できないかと業者に見てもらっているところでございます。

今後の状況を見ながら、必要に応じて教育委員の皆様にもご報告させていただきます。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

(1) 学校給食費の収納状況について

【資料説明】

11月26日現在、10月分までの収納率となっております。

小学校が99.65%、中学校が99.24%、小中合計が99.52%になっておりまして、昨年度の同時期と比較すると0.25%プラスになっております。未納額も486,748円少なくなっております。

今後も学校と情報共有をしながら、個々に対応した収納を進めていきたいと考えております。

(2) 八潮市学校適正配置指針・計画の進捗状況について

【資料説明】

第4回目を10月30日（水）に行いました。審議事項としては、中央部地区の方向性と南部地区の今後の方向性について検討していただき、ご承認をいただきました。

主な意見といたしましては、「色々なデータからどんな方策を取っても大瀬小学校は教室不足が生じることになるので、新設小学校は建てなければならないと思う。その場合、大曾根小、大瀬小、新設小の3校に人数の格差が出ないようにうまく割振りをしてほしい」、「学校を新設する際、全学年が揃うと考えているのか。学区変更は保護者に不安を与えると思う。学区が変わる前に保護者の意向を確認できたらいいのではないか」、「新しい学校を魅力的なものにすれば良い」、「第1期の方向性で「新設校への建設を検討する際は将来的な潮止中との小中一貫教育も視野に入れ検討する。」とあるが、どういうことか」、「新設小はいつ頃完成する見込みなのか。教室数不足が発生する時期までに間に合うのか」、「南部地区については引っ越してくる方々が学校の問題を理由に八潮市への引っ越しを足踏みするような状況にならないよう、教室数不足の問題についてしっかり対策を講じていただきたい」、「新設校については、小学生と中学生が共存する時期があってはいいのではないかと思う。小学生が多い時期は小学校となり、中学生が多くなれば中学校となる。そういった柔軟な考え方ができればと思う」、「南部の状況から学区変更や新設校の建設は必要になると思うが、学区変更については慎重に検討していただきたいと思う」、「新設小学校は必要だという意見が多く、次回まとめる答申で新設小学校が必要になることを強く明記していくべきだと思う」などのご意見をいただきました。

第5回は11月28日（木）を予定しております。これまでの審議は概ね終了しておりますので、まとめを予定しております。

第5回で提出する答申（案）につきまして、教育委員の皆様へは事前に配付しておりますので、ご確認いただければと思います。

今後の予定でございますが、答申をいただいた後、12月9日（月）の臨時教育委員会においてご報告させていただきますので、ご意見等をいただければ

と思います。

また、第3回の審議会において、11小の方向性についてご承認をいただいております。現在計画策定前ではございますが、パブリックコメントを出す前に地域の方々に説明をしたほうがいいのではないかとの声がありましたので、「鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業地区内の学校予定地に関する説明会 実施要領」を定め、11月28日（木）、11月30日（土）の2回にわたり説明会を実施いたします。対象は地域住民・地権者・関係者等、内容につきましては、11小予定地となった経緯や児童数の推計やこれからの推計、学校施設については潮止小と八條小で吸収することができるので、建てない方向で審議されていることを説明する予定となっております。参加者の募集については、市ホームページ、広報やしお、回覧板等で行いました。説明は、学務課、教育総務課、区画整理課で行います。

（3）セレクト給食について（ご案内）

【資料説明】

教育委員の皆様へ申込書を配付いたしましたので、12月の教育委員会までにご回答いただければと思います。令和2年1月21日から3月12日までの期間で対象校は8校でございます。料理につきましては、記載の通りとなっております。フルーツにつきましては、時期によって内容が異なりますのでご注意ください。栄養士で考えた献立となっておりますので、是非楽しみにしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

●岸本文化財保護課長兼資料館長

- （1）資料館体験講座「藁細工」について
- （2）資料館体験講座「もちつき体験」について

【資料説明】

早いもので、今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。資料館体験講座の2点は、新たな年を迎えるにあたって昔から行われてきた様々な準備のひとつ

として縁起物の亀を作る講座と、年神様へのお供えもののお餅つきです。こうした行事を通して、新年を迎えることに対して、昔から人々がどのような思いを抱いてきたかを考えていきたいと思えます。

(3) 歴史講座「潮止村の面影をたずねて～二丁目・南川崎の史跡めぐり」について

【資料説明】

市内の史跡めぐりで潮止地区を歩きます。潮止地区は今八潮駅を中心として新しいまちづくりが行われている変貌の激しい地域ですが、昔の絵図や航空写真などと比較しながら、変化を追い、その面影を辿ってみたいと思えます。

(4) 共催事業「渋沢栄一の生涯と埼玉」（八潮市郷土研究会創立50周年記念講演会）

【資料説明】

共催事業としまして、渋沢史料館館長井上潤様をお招きして、渋沢栄一と生まれ故郷であります埼玉の関わりについてご講演いただきます。渋沢栄一は新しい1万円札の顔となることが決まり、再来年には大河ドラマにもなる、今、話題の時の人です。八潮や現在企画展を行っております田中四一郎ともかかわりがあり、企画展ではその書が展示されております。またとない機会ですので、企画展と合わせてお楽しみいただければと思えます。

●五味指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 全国学力・学習状況調査について

【資料説明】

2番の表になっている箇所が、本市の課題でございます。「まとめて書く、説明する、自分の考えについて根拠をもとに表現する」力が不足しています。

英語についても、「3人称で自分の考えを書く」力が不足しています。

1枚お捲りください。左側が八潮市の小学校と中学校の順位となっております。小学校については中間あたりです。中学校は市単位の中では一番低い順位となっております。右側に教科ごとの順位を記載しましたので、ご覧いただければと思います。

小学校の方は、八潮スタンダードに則った授業を多くの学校で行っておりますので、上昇傾向にあります。昨年度は42位でした。中学校は55位から後退しています。

学校訪問等で指導はしておりますが、今後も校内研修がありますので、そちらを通して八潮スタンダードに則った授業の視点をもとに今後も指導を行ってまいります。

(2) 小中一貫教育について

【資料説明】

10月に2つの自治体から視察がありました。1つ目が神奈川県綾瀬市の視察です。教育長及び教育委員の方々がお見えになり、大曾根小学校の6年生の授業を見学いたしました。この授業は非常に素晴らしかったです。子どもたちが自ら課題を設定し、自分で考え、対話的なトリオ学習（3人での学習）をこまめに行っており、子どもたちが1時間中考えるといった授業でした。

2つ目が栃木県大田原市の視察です。小中一貫とコミュニティスクールについての視察でした。こちらについては、大瀬小学校での授業を見学されました。

大田原市は学力が高いです。お見えになられた校長先生より、書く力が非常にあるので、今後参考にできることを取り入れていきたいといった意見をいただいております。

続いて小中一貫教育の全国サミットです。今年度も発表を行いました。大曾根小学校の榎本校長と會田指導主事が「学びを通して子どもを育てる生徒指導」について発表をしました。

最後に小坂町教職員派遣研修報告についてです。11月11日（月）～11

月15（金）の1週間行いました。私も11日～13日まで授業を参観してきました。八潮市の先生方の授業も小坂町の先生方の授業も質は変わらず、八潮市の先生方の授業力が向上してきた印象を持つとともに、八潮市の先生方の勢いを感じました。道徳の授業についても素晴らしい授業を行う教員がおり、小坂町の教員にとっても刺激になり、お互い刺激し合っているという状況です。

（3）令和元年10・11月 事件・事故報告について

【資料説明】

不審者がかなり多い状況となっております。

〔教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑〕

○木下委員

2点伺います。

1点目、トイレの洋式化について、市内小中学校で洋式化率の低い学校を教えてください。

2点目、セレクト給食についてご説明がありましたが、8校のみとなっておりますが、他の2校は実施しないということですか。

●関根教育総務課長

1点目のトイレの洋式化につきましては、トイレのみの改修が難しいため、学校の大規模改修に合わせて工事を実施しております。洋式化率が1番低い学校は八潮中学校で22.9%です。予算ヒアリングでも教頭先生から依頼がありましたが、優先順位があるため、すぐには対応できない状況です。

このため、洋式化率の低い小学校では、和式の上に設置するタイプの簡易式洋式トイレを設置することで対応いたしました。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

2点目のセレクト給食につきまして、他の2校はすでに終了してしまっているため8校となっております。

○高橋委員

近頃、学校の教員がSNSを通じて性犯罪に関わってしまうことが多く感じますが、八潮市としてこういったことについてどのような対応をしていますか。

●井上学校教育部長

埼玉県にて臨時校長会が開催され、「職員の不祥事防止の徹底について」話があり、その中で、SNSによる児童生徒との繋がりについて学校で指導をするよう話がありました。

また、中学校では部活動の連絡にSNSを利用することもあります。今後はこういったことを禁止とする旨の指導もありました。このような県からの指導を受けて各学校へは指導を行っています。

なお、市教育委員会主催の研修会についてですが、性犯罪に特化した研修会というものはありませんが、今年度から新たに臨時採用の先生方を対象として、不祥事等に係る研修会を開催いたしました。

○木下委員

小坂町教職員派遣研修に行かせていただきました。

小坂町に行きたかった理由は2つあり、自分の目で確かめたかったことと感じたことがあります。1つは子どもたちの様子、もう1つは小坂町から見た八潮市と先生方の姿を見てみたく行かせていただきました。

八潮市の先生方の授業を拝見しましたが、皆さん勢いがあり、1週間そのことだけを考えて研究をして取組む。という凄くいい環境で授業ができるという体験をした先生方はいい経験をされていると思いました。

子どもたちの様子を教員としてではない目線から見たときに、発言する力や表現する力は、八潮市の子どもたちと変わらないと感じました。

また、小坂町の子供たちは身だしなみが凄くしっかりしており、男子児童生徒は寝癖がありませんでした。女子児童生徒は、保護者が時間をかけて髪型を綺麗に整えているという印象を受けました。ということは、朝しっかりご飯を食べ余裕を持って学校へ登校しているということだと思います。靴も見まし

た。上履きは運動靴を履いていましたが、全員が清潔で綺麗な運動靴でした。ということは、保護者がしっかり洗って管理しているということだと思います。こういった光景を見て、保護者も学校へ関わっているのだろうと感じました。

授業を受けている光景は変わらなくても、生活の中で教育がされている印象を受けました。

小坂町から見た八潮市と先生方の姿は、小中一貫校なので環境が整っており伸び伸びと育っている児童生徒がいて、学力の面から見ても学校、地域、家庭の連携が取れていて学校だけの力ではなくこうなっていると思いました。

小学校と中学校を行ったり来たりしていると、何となく寂しげな感じを受けました。この理由は空き教室が多くあることでした。これを見て、今八潮市でおかれている教室不足の南部地区の問題が頭をよぎりました。教室が足りない八潮市と子どもが減っていく小坂町を見て、にぎやかであるべき学校に子どもが少なくなっていく現状を抱えている小坂町にしてみたら、八潮市の問題はうらやましい話なのかなと思いました。八潮市の問題は大変ですが、未来のある取り組みのように思えました。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。

次回開催日程

令和元年第3回臨時会 令和元年12月9日（月）午前9時00分

令和元年第12回定例会 令和元年12月25日（水）午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員